

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D3	
		仕様		STD	
		適用号機		XKW00001～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度			
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2100	
		ローアイドルリング	min ⁻¹	950	
		トルコンストール状態	min ⁻¹	—	
		（冷却水温）	(℃)	(70～80)	
		（作動油温）	(℃)	(80～90)	
	エンジン油圧		kgf/cm ²		
		（油 温）	KPa	375～	
	（回転速度）	(℃)	(60～70)		
		(min ⁻¹)	(1800-2400)		
弁すき間					
	吸気弁 隙間	mm	0		
	排気弁 隙間	mm	0		
（測定条件）			(冷間時)		
	圧縮圧力又は	kgf/cm ²			
	気筒間圧縮圧力差	KPa	350		
（冷却水温）	(℃)	(—)			
	（回転速度）	(min ⁻¹)	(—)		
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ²	設定なし	
KPa			(コモンレール)		
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	設定なし		
	[測定位置・条件]		(自動張り調整)		
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ	c m	—	
		ペダルの遊びとストローク	c m		
		ペダルの全ストローク	c m		
	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa	—	
		ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	KPa	—
				kg/cm ²	—
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	KPa	—
				kg/cm ²	—
			ミッション潤滑油圧	KPa	—
				kg/cm ²	—
		クラッチ油圧	KPa	—	
		kg/cm ²	—		
(ミッション油温)		(℃)	—		
(エンジン回転速度)		(min ⁻¹)	—		
プロベラーシャフト	ボルト締付けトルク	N・m	—		
		kg・m	—		
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク	c m	—	
	ステアリングクラッチ油圧	レバーの全ストローク	c m	—	
			MPa		
		(油 温)	kg/cm ²	—	
	(回転速度)	(℃)			
		(r p m)			

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D3		
		仕様		STD		
		適用号機		XKW00001～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値		
走行装置	クローラベルト	ベルト 張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—		
			mm	図1参照		
		鉄 シ ユ ー ー	リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	
			履板取付ボルト 締付けトルク 測定方法・条件	N・m kg・m	170±40 180±5°増し締め	
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5以上	—		
作業装置	シ リ ン ダ ー 自 然 伸 縮	ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) リッパースhiftシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) リッパースhankシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分 mm/分 mm/分 mm/分	17mm/5分 地面から254mm 33mm/5分 チルト左一杯 6mm/5分 地面から254mm —	
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分 mm/分	—	
		(作動油温)		(℃)		
		作 業 機 速 度	ブルドーザー	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒 秒	2.2±0.3秒 地面～最大 1.3±0.2秒 地面～最大
			ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒 秒	—
	(作動油温)		(℃)			
	油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² MPa (℃)	20.6±0.9 (38～65)	
	備考					

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
図 1．履帯調整方法	1．車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2．バルブ・カバーを外す。（図は開けた状態） 3．トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 トラックを緩める場合、リリース・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリース・バルブ（2）を閉めてください。 5．バルブ・カバーを閉じる。 6．反対側の履帯に同様の作業を行う。